

鶴居びと育成事業 ～次世代に繋げるイルミネーション～



釧路管内代表

鶴居村教育委員会

吉田

綾稀

01 事業概要・経過説明

02 役割分担・段取り

03 成果・課題

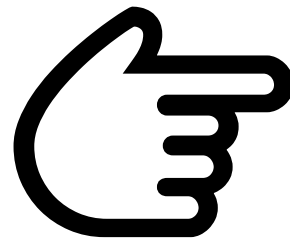
04 実践から学んだ
社会教育行政職員の役割



鶴居びと：豊かな人間性を備えた次世代の担い手



第5次鶴居村総合計画



基本目標
5

**豊かな人間性を育む
むらづくり**

【教育・文化】

次代を担う子どもが健やかに育つための教育環境の充実、各世代が生涯学習やスポーツ・文化に親しむ環境の整備を図り、豊かな人間性を備えた「鶴居びと」の醸成をめざします。

主要施策	
○生涯学習を推進する体制づくり	○教育施設、設備の充実
○教育内容の充実	○学校給食の充実
○青少年育成事業の充実	○スポーツ施設、社会教育施設の維持管理
○タンチョウとの共生に向けた検討	○文化財の保護
○旧村営軌道の保存と活用	

地域を知る＋地域を好きになる＝次世代の担い手（鶴居びと）

事業概要



鶴居村イルミネーション事業

目的：鶴居村商工会イルミネーション実行委員会が主体となり、地域間交流と商工会の活動を多くの村民に知ってもらうことを目的として実施。※令和2年度から実施

- ・ 実行委員会（商工会青年部11名＋行政職員等（ボランティア）で組織
- ・ 予算額：60万円 ※鶴居村から補助金交付
- ・ 鶴居村のマスコットキャラ（つるぼー・ひなぼー）を主役

経過説明

子どもたちと住民の交流

参加者・ボランティアの確保

連携・協働



関係機関との連携協働

担い手育成・行政と住民連携協働

行政・住民のつなぎ役に

鶴居村商工会

教育委員会

実施までの流れ

1. 実行委員会：3回開催

協議事項：役割分担、段取り、日程調整など

2. 設置：令和4年11月27日（日）

参加者：実行委員会、行政職員等

小・中学生・保護者 30名

→村内小中学生・保護者による、
イルミネーションへの飾り付け

3. 点灯式：令和4年12月2日（金） 44名

役割分担

教育委員会

- ・ 小・中学校へ周知、募集案内配布
- ・ 参加者取りまとめ
- ・ 関係者との連絡調整



商工会

- ・ 実行委員会の運営
- ・ 材料の手配・準備



実行委員会

- ・ 内容企画・検討
- ・ 募集案内作成
- ・ 設置・点灯式などの準備・運営



参加者

- ・ イルミネーションへの飾り付け



1. 商工会の理解促進
2. 地域間交流の場を確保
3. 地域づくりへの参加

→鶴居びとの育成（次世代の担い手）

活動の様子



LEDライト巻き付け



オーナメント飾り付け



親子の作業風景





夜にライトアップした様子



子ども・保護者が製作したイルミネーション

参加者の声



親子で楽しく飾り付けをできた。



商工会のこの事業をたくさんの人に広めたい。



これからの子どもたちや村民が地域活動に気軽に参加できるように、この事業は守り続けていって欲しい。

地域づくりの担い手（鶴居びと）育成＝行政と住民の連携協働

成果と課題

成果

- ・商工会の活動を知ってもらうことができた。
- ・地域間交流する機会を提供することができた。
- ・地域づくりに気軽に参加してもらうことができた。

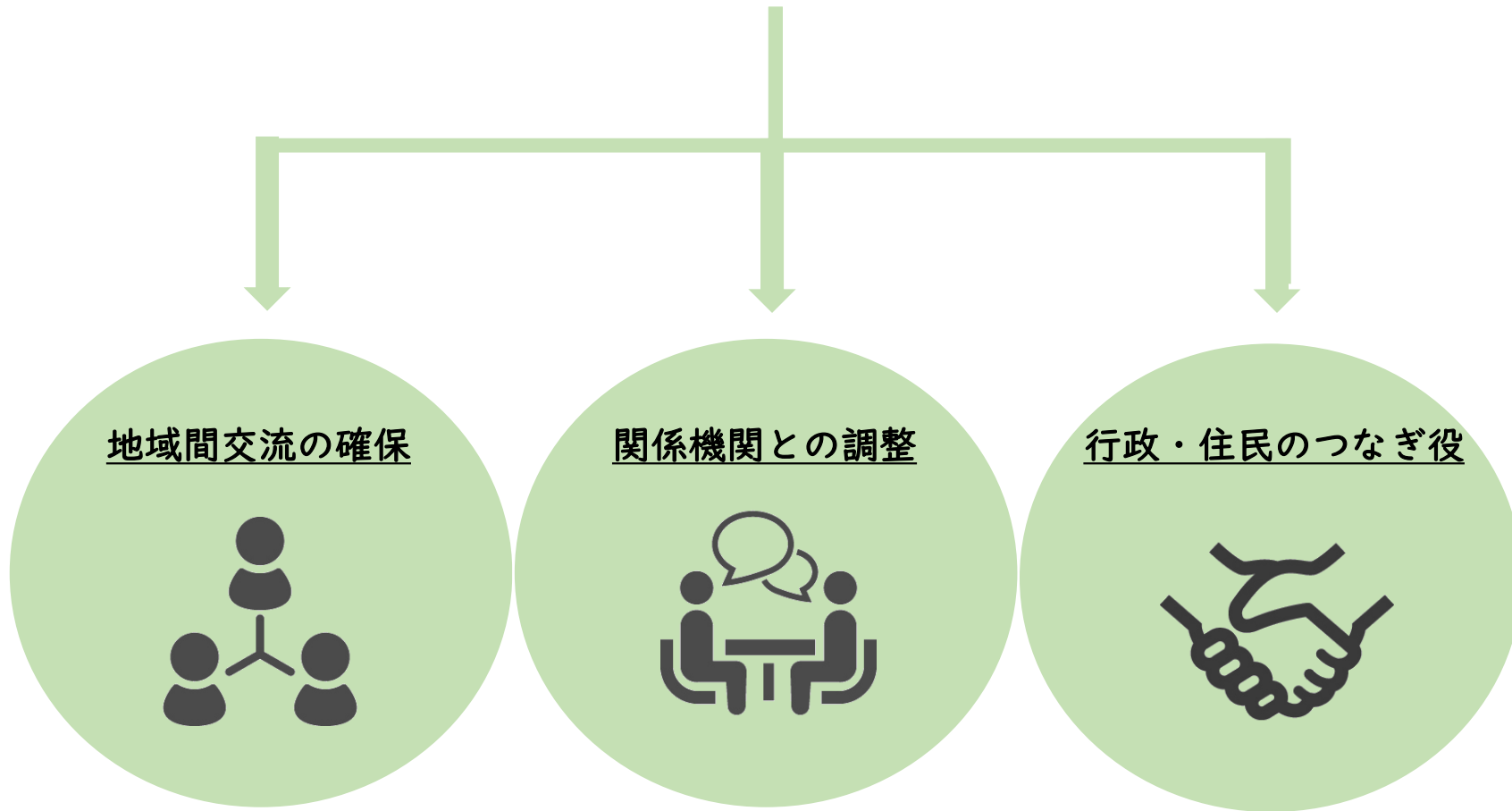
副産物

ボランティアという新しい切り口で、行政・住民の小さな連携協働から次世代の担い手（鶴居びと）育成のモデルを作ることができた。

課題

- ・参加者が特定の人になってしまう。
→オンライン会議や意見書などを送付して幅広く意見や要望を求める。
- ・飾り付けが予定よりも早く終わり、作業が無い参加者が目立った。
→+αイルミネーションの設置、LED電極を電源につなぐ

実践から学んだ社会教育行政職員の役割



ご清聴ありがとうございました

